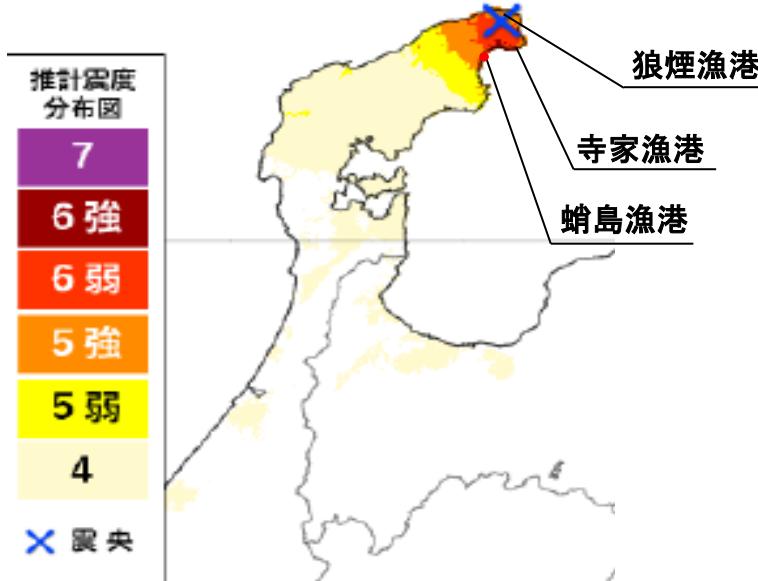


令和5年奥能登地震の被害状況

- 令和5年奥能登地震により、石川県において水産関係施設の被害が発生。
- 具体的には、石川県の3漁港で臨港道路、岸壁等の亀裂や沈下の被害のほか、荷捌き施設等の共同利用施設3件で給油施設における配管の歪み等の被害が発生。

＜地震の概要＞

- 発生時刻：5月5日14時42分
- マグニチュード：6.5
- 場所及び深さ：石川県能登地方 深さ12km
- 震度：最大震度6強(石川県珠洲市)、東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測



＜水産庁の対応＞

- 水産庁災害情報連絡会議を開催(5月5日)
- MAFF-SATとして技術指導等のため石川県へ職員2名を派遣(5月12日)

＜主な水産関係被害(令和5年8月17日時点)＞

○漁港施設等：3漁港 (738.5百万円)

- ・石川県(3漁港)：臨港道路・岸壁等に亀裂や沈下

○共同利用施設等：3件 (4.3百万円)

- ・石川県(3件)：給油施設における配管の歪み等

○漁具倉庫・水産加工等：1件 (24.3百万円)

- ・石川県(1件)：水産総合センターの地中水管に亀裂等

【合計 767.1百万円】

【共同利用施設等】

- ・給油施設の配管の歪み



狼煙(のろし)漁港

蛸島(たこじま)漁港



○岸壁の沈下や護岸の前傾などの被害が発生。



○船揚場や物揚場に亀裂、沈下の被害が発生。

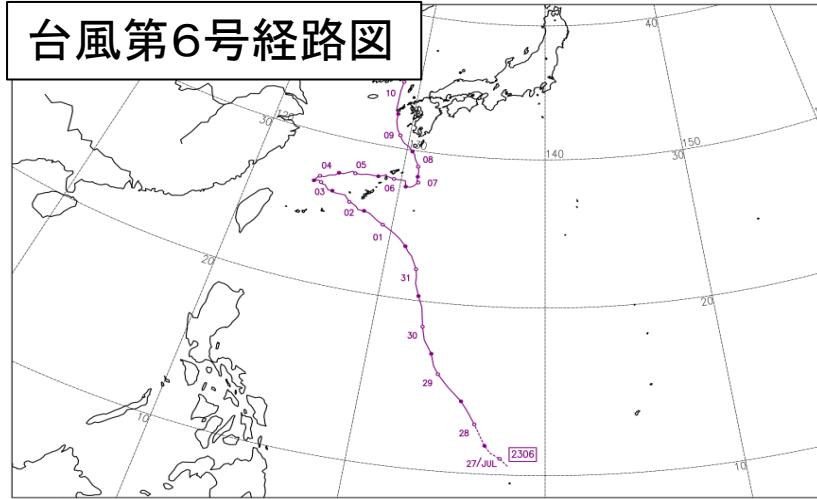


岸壁の沈下の被害が発生。

令和5年台風第6号に係る水産関係の被害状況

- 台風第6号による暴風・波浪等により、水産関係施設で約11億円の被害が発生。
- 九州地方を中心に水産物だけでなく、漁港施設への被害が発生。水産関係被害額の約7割を漁港施設の被害が占めた。

台風第6号経路図



<水産庁の対応>

- 水産庁災害情報連絡会議を開催(8月2日)

<主な水産関係被害(令和5年10月23日時点)>

○漁港施設等 : 9漁港 (752.0百万円)

- ・長崎県(2漁港)・鹿児島県(1漁港)・沖縄県(6漁港)

○海岸漂着物 : 6海岸 (34.2百万円)

- ・宮崎県(6海岸)

○共同利用施設 : 39件 (33.0百万円)

- ・長崎県(1件)・宮崎県(5件)・熊本県(5件)・沖縄県(28件)

○漁船 : 21隻 (22.1百万円)

- ・長崎県(2隻)・沖縄県(19隻)

○その他(水産物等) (230.6百万円)

【合計 1,071.9百万円】

各県の被災状況写真

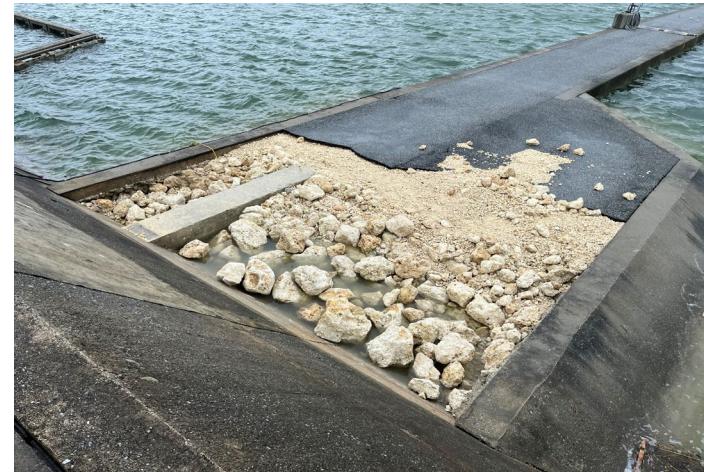
①浮桟橋の係留杭の傾斜(長崎県五島東漁港)



②防波堤の破損(鹿児島県小湊漁港海岸)



③堤防の損傷(沖縄県海野漁港)



④防波堤のブロック飛散(沖縄県糸満漁港)

